



平成 29 年 12 月期 第 1 四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成 29 年 5 月 10 日

上場会社名 窪田製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4596 URL <http://www.kubotaholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表執行役会長、社長兼最高経営責任者 (氏名) 窪田 良
 問合せ先責任者 (役職名) ファイナンスディレクター (氏名) 石川 康男 (TEL) 03(5789)5872
 四半期報告書提出予定日 平成 29 年 5 月 10 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成 29 年 12 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 12 月期第 1 四半期	0	—	△1,025	—	△983	—	△983	—
28 年 12 月期第 1 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 当社株主に帰属する四半期包括利益 29 年 12 月期第 1 四半期 △1,580 百万円 (—%) 28 年 12 月期第 1 四半期 一百万円 (—%)

	1 株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益
29 年 12 月期第 1 四半期	円 銭 △25.98	円 銭 △25.98
28 年 12 月期第 1 四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率	1 株当たり 株主資本
29 年 12 月期第 1 四半期	百万円 15,548	百万円 15,056	百万円 15,056	% 96.8	円 銭 397.03
28 年 12 月期	17,169	16,520	16,520	96.2	436.14

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
28 年 12 月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
29 年 12 月期	—	—	—	—	—
29 年 12 月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成 29 年 12 月期の連結業績予想 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり当社株主に 帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通 期	0	—	△4,290	—	△4,180	—	△4,180	△110 00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
 新規 一社 (社名) 一、 除外 一社 (社名) 一

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期1Q	37,921,176株	28年12月期	37,877,705株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	70株	28年12月期	70株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期1Q	37,838,431株	28年12月期1Q	—株

※ 四半期決算短信は、四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、前連結会計年度において、平成28年12月1日付で、当時当社の親会社であったアキュセラ・インクと平成28年3月24日付で設立された当社の子会社であるアキュセラ・ノースアメリカ・インクとの間で、アキュセラ・インクを吸収合併消滅会社、アキュセラ・ノースアメリカ・インクを吸収合併存続会社とし、その対価として、当社の普通株式をアキュセラ・インクの株主に割当交付する三角合併を行い、平成28年12月6日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しました。このため、当社は第1四半期の業績開示を平成29年12月期第1四半期より行っているため、平成28年12月期第1四半期の数値及び平成29年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

本資料に記載されている業績予想及びその他の将来予測に関する記述は、現在入手可能であり、かつ当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により著しく異なる可能性があります。業績予想については、添付資料 P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、前連結会計年度において、平成 28 年 12 月 1 日付で、当時当社の親会社であったアキュセラ・インクと平成 28 年 3 月 24 日付で設立された当社の子会社であるアキュセラ・ノースアメリカ・インクとの間で、アキュセラ・インクを吸収合併消滅会社、アキュセラ・ノースアメリカ・インクを吸収合併存続会社とし、その対価として、当社の普通株式をアキュセラ・インクの株主に割当交付する三角合併を行いました。

このため、当社は第 1 四半期の業績開示を平成 29 年 12 月期第 1 四半期より行っているため、平成 28 年 12 月期第 1 四半期の四半期連結財務諸表を作成していません。なお、以下の分析は、当資料を利用する投資者の便宜のため前年同四半期(平成 28 年 12 月期第 1 四半期)の数字は旧アキュセラ・インクの連結数値を利用しております。

当第 1 四半期連結累計期間(平成 29 年 12 月期第 1 四半期)と前第 1 四半期連結累計期間(平成 28 年 12 月期第 1 四半期)の比較

提携からの収益

当第 1 四半期連結累計期間(以下、当第 1 四半期)の提携からの収益の計上はなく、前第 1 四半期連結累計期間(以下、前第 1 四半期または前年同四半期)と比較して 423 百万円(前年同四半期比 100.0%)の減少となりました。

プログラムごとの収益は以下の通りです。

(単位：%を除き、千円)

	当第 1 四半期	前第 1 四半期	増減額	増減率 (%)
エミクススタト塩酸塩	—	423, 226	△423, 226	△100.0
合 計	—	423, 226	△423, 226	△100.0

提携からの収益の前年同四半期からの減少は、エミクススタト塩酸塩に関する大塚製薬株式会社(以下、大塚製薬)との共同開発契約の終了に伴い、エミクススタト塩酸塩に関連する臨床試験が終了したことによるものです。エミクススタト塩酸塩に関する開発費の精算は、平成 28 年 12 月に完了致しました。

地図状萎縮を伴うドライ型加齢黄斑変性に対する治療薬候補としてのエミクススタト塩酸塩に関連する当社の臨床プログラムは、平成 28 年 5 月に終了しております。当社は、将来において、かかる提携から収益を生み出すことを予想していません。

研究開発費

当第 1 四半期の研究開発費は 554 百万円となり、前年同四半期と比較して、451 百万円(前年同四半期比 44.9%)の減少となりました。

プログラムごとの研究開発費は以下の通りです。

(単位：%を除き、千円)

	当第 1 四半期	前第 1 四半期	増減額	増減率 (%)
自社研究	387, 034	613, 176	△226, 142	△36.9
エミクススタト塩酸塩	167, 084	391, 817	△224, 733	△57.4
合 計	554, 118	1, 004, 993	△450, 875	△44.9

当第 1 四半期における自社研究に関連した研究開発費は、前年同四半期と比較して減少致しました。これは主に、前年同四半期にラノステロールに関するオプション及びライセンス契約に基づき、YouHealth社に対して支払った572百万円の払戻し不可の前払金が、当第 1 四半期においては発生しなかったことによります。当社の戦略的事業計画の実行に基づく研究開発の進展により、上記の前払金を除くと、自社研究の研究開発費は増加しております。

エミクススタト塩酸塩の臨床試験に関連する研究開発費は、前期において地図状萎縮を伴うドライ型加齢黄斑変性を対象とした臨床第 2b/3 相試験が終了したことにより減少致しました。当第 1 四半期においては、スターガルト病及び増殖糖尿病網膜症を対象とした臨床試験を進め、167 百万円の研究開発費を計上しております。

戦略的事業計画に基づく製品候補の開発は自己資金により賄われ、提携パートナーによる資金提供を受けられないことを想定しております。このため、研究開発の遂行ならびにインライセンス取引の実行による契約一時金やマイルストーンの支払いにより、研究開発費用総額が米ドル換算の絶対額において今後増加すると予想しています。

一般管理費

一般管理費の金額は、以下の通りです。

(単位：%を除き、千円)

	当第 1 四半期	前第 1 四半期	増減額	増減率 (%)
一般管理費	470, 561	876, 650	△406, 089	△46. 3

当第 1 四半期の一般管理費は前年同四半期と比較して、406 百万円(前年同四半期比 46.3%)の減少となりました。主な要因は以下の通りです。

- ・ 株価連動型オプションが当第 1 四半期は確定しなかったことによる株式報酬費用の減少：△209 百万円
- ・ 三角合併(本社移転取引)に関連した弁護士費用等の減少：△128 百万円
- ・ 従業員の減少による人件費の減少：△49 百万円
- ・ その他の要因による減少：△20 百万円

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第 1 四半期連結会計期間末の流動資産は 13, 321 百万円となり、前連結会計年度末と比べて 1, 510 百万円の減少となりました。これは主に現金及び現金同等物と短期の投資の減少によるものです。また、提携からの未収金は大塚製薬との契約の終了に伴い、170 百万円減少しております。

(固定資産)

当第 1 四半期連結会計期間末の固定資産は 2, 227 百万円となり、前連結会計年度末と比べて 110 百万円の減少となりました。これは主に研究開発投資に伴い長期投資が減少したことによるものです。

(流動負債)

当第 1 四半期連結会計期間末の流動負債は 376 百万円となり、前連結会計年度末と比べて 162 百万円の減少となりました。これは主に地図状萎縮を伴うドライ型加齢黄斑変性を対象とした臨床試験が終了したことにより、未払金や未払報酬が減少したことによるものです。

(長期負債)

当第 1 四半期連結会計期間末の長期負債は 117 百万円となりました。長期負債は主に長期繰延賃借料であります。

(株主資本)

当第 1 四半期連結会計期間末の株主資本は 15, 056 百万円となり、前連結会計年度末と比べて 1, 464 百万円の減少となりました。これは主に四半期純損失を 983 百万円計上したことにより累積欠損が拡大したことや、円高により為替換算調整勘定が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 29 年 2 月 14 日に公表致しました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成 28 年 12 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成 29 年 3 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,042,474	1,372,898
投資	13,205,924	11,462,765
提携からの未収金	239,393	69,074
前払費用及びその他の流動資産	343,643	416,621
流動資産合計	14,831,434	13,321,358
有形固定資産(純額)	89,643	81,681
長期投資	2,210,404	2,087,911
その他の資産	37,053	57,459
資産合計	17,168,534	15,548,409
負債及び株主資本		
流動負債		
買掛金	51,132	75,461
未払債務	201,004	155,244
未払報酬	267,373	127,659
繰延賃借料及びリース・インセンティブ	17,795	17,206
流動負債合計	537,304	375,570
コミットメント及び偶発事象		
長期繰延賃借料及びリース・インセンティブ、 その他	110,967	116,915
長期負債合計	110,967	116,915
株主資本		
普通株式(無額面)：		
授権株式数		
平成 28 年 12 月 31 日現在	151,358 千株	
平成 29 年 3 月 31 日現在	151,358 千株	
発行済株式数		
平成 28 年 12 月 31 日現在	37,878 千株	
平成 29 年 3 月 31 日現在	37,921 千株	
	23,730,843	23,846,283
その他の包括利益累計額	285,249	△311,640
累積欠損	△7,495,829	△8,478,719
株主資本合計	16,520,263	15,055,924
負債及び株主資本合計	17,168,534	15,548,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

		当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)
費用		
研究開発費		554,118
一般管理費		470,561
費用合計		<u>1,024,679</u>
営業損失		△1,024,679
その他の収益(費用)(純額)		
受取利息		40,393
その他の収益(純額)		1,634
その他の収益合計(純額)		<u>42,027</u>
税引前当期純損失		△982,652
法人税等		△238
四半期純損失		<u>△982,890</u>
当社株主に帰属する四半期純損失		<u>△982,890</u>

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

		当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純損失		△982,890
その他の包括利益		
税引後有価証券未実現純損益		2,489
為替換算調整勘定		△599,378
四半期包括利益		<u>△1,579,779</u>
(内訳)		
当社株主に帰属する四半期包括利益		△1,579,779

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 29 年 1 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
四半期純損失	△982,890
四半期純損失から営業活動に使用された現金(純額)への調整	
減価償却費	9,022
株式報酬	112,735
市場性有価証券のプレミアムまたはディスカウントの償却	10,555
営業資産及び負債の変動：	
提携からの未収金	163,504
前払費用及びその他の流動資産	△73,831
買掛金	26,545
未払債務	△38,821
未払報酬	△131,471
繰延賃借料及びリース・インセンティブ	10,238
その他の資産	△22,046
営業活動によるキャッシュ・フロー(純額)	△916,460
投資活動によるキャッシュ・フロー	
売却可能市場性有価証券の取得	△2,844,864
売却可能市場性有価証券の満期償還	4,136,643
有形固定資産の取得	△4,308
投資活動によるキャッシュ・フロー(純額)	1,287,471
財務活動によるキャッシュ・フロー	
源泉徴収税に関する制限付株式ユニットの買戻し	△43
普通株式の発行による収入	2,748
財務活動によるキャッシュ・フロー(純額)	2,705
現金及び現金同等物の換算差額	△43,292
現金及び現金同等物の増減額	330,424
現金及び現金同等物の期首残高	1,042,474
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,372,898

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。